

ひめだ高宏ニュース

日本共産党 和歌山市会議員

No. 923

'12.8.22

雷に注意しましょう！！

大阪の長居公園でコンサートに行く途中の2人の方が落雷で亡くなったニュースにはビックリ。落雷事故は、登山・ハイキング、ゴルフ、釣り・キャンプ、農作業、屋外スポーツ(サッカー、野球など)で起こっています。最近、よくゴロゴロ鳴っています。雷が鳴ったらお互い注意しましょう。

ポリオ予防接種の接種方法変更

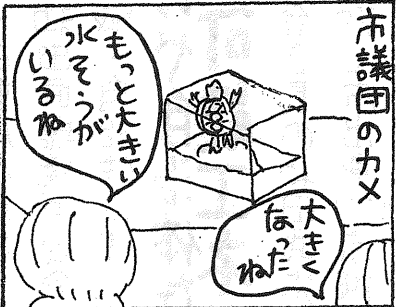
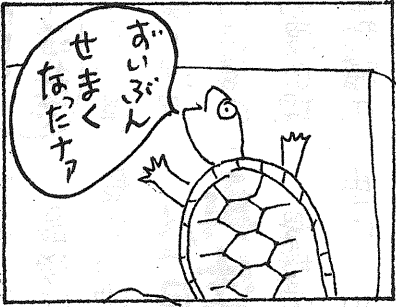
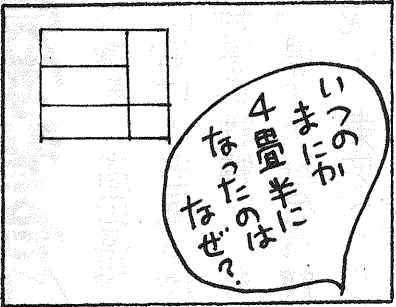
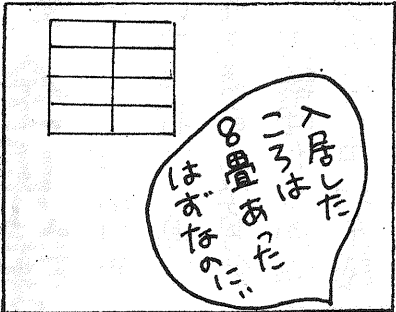
8月20日(月)保健所保健対策課からポリオ(小児麻痺)予防接種の接種方法の変更について、通知がありました。国の予防接種実施規則が

変わりに、9月1日から定期のポリオの予防接種が経口から注射に集団接種から医療機関での個別接種になります。また、従来の3種混合ワクチン(ジフテリア、

百日せき、破傷風)に不活化ポリオワクチンを加えた4種混合ワクチンの募集承認が得られたことから、厚労省で11月1日定期接種へ

	改正前	改正後
ワクチンと 代替日	経口生ポリオワクチン (8月31日まで)	単独の不活化ポリオワクチン (9月1日以降) 又は4種混合ワクチン (11月1日以降の予定)
対象	生後3月から生後90か月未満	同 左
標準の接種時期	生後3か月から生後18か月未満	同 左
回数	2回	初回3回、追加1回 計4回
間隔	4日以上	初回は20日から56日おき23回 追加は初回接種終了後12 か月から18か月未満で1回
方法	集団接種(保健所等6ヶ所)	個別接種(医療機関)

アツい人々



市議団のカメラ

の導入に向け規則の改正準備がさかかっているとのこと。対象者には広報紙、H P、個別通知で周知されます。対象者には広報紙、H P、個別通知で周知されます。無事終了たわけですが、参加者の中では私が一番若手であり、町内の高齢化は確実に進んでいることを実感しました。公園の設置は地元から陳情して市でもらいました。公園が、日常の管理は住民が行うという約束になっています。年に一回の清掃除も今年から自治会会計で業者に委託しました。公園の管理もいつまでできるのか、高齢化の波はこつこつとところにも表れているのかと感心した一日でした。

「さあ、ネジを巻き直して、活動の再開です。」



ふじい健太郎 前県議員

和歌山県の 日本共産党

全県議員学習会

日高川町
中津荘で

8月21日(土)日高川町のきのくに中津荘で、県下の日本共産党議員の学習会が開かれ、市議団から南畑・松坂・ひめだと中村市議候補が参加。中津荘の横には、きれいな川や山がありました。

学習会は、中央委員会自治体局の玉木さんから「国政・地方政治の焦点と総選挙勝利への地方議員活動」

の講義。高田県議から「県における当面の地震・津波対策の課題」、奥村県議の「県下の社会保障制度の現状」、東芝かつらぎ町議の「ツイッター・フェイスブックのミニ講座」、山本日高川町議の「木質パウダーによる木質バイオマス活用」、下角県書記長の「総選挙勝利をめざす取り組み」、和歌山県議の「県の自然

エネルギーの普及の説明。最後に和歌山環境学会会長の「地域・自治体主導に

住民や自治体など地域主体で 再生可能エネルギー活用を

環境学会会長の和歌山先生は、和歌山市出身で高槻市にお住まいだそうです。講演は、プロジェクターを使い、1.再生可能エネルギーの重要性と動向、2.再生可能エネルギーの課題と特性、市民・自治体等の地域主体による普及が最適

による再生可能エネルギー普及」の講演と盛りだくさんな内容でした。

3.地域主導の再生可能エネルギー普及と社会発展、ドイツ、デンマーク等の事例を踏まえて、4.市民・自治体・地域主導で日本でも再生可能エネルギー中心社会を実現しよう、という順番で進められました。

北ドイツで風力発電協会が誕生。西国とも電力買取協定や国の設置補助や免税制度が充実。住民参加のルールが確立されているとか。ドイツでは、太陽光、地熱、バイオマスなどあらゆる再生可能エネルギーによる電力買取補償制度で一気に普及が進んだとか。

くんにちは 日本共産党



サッカーの20歳以下女子のワールドカップで日本は初戦、メキシコに快勝しました。
日本女子サッカーチームは、一般的には「なで

こ」と呼ばれます。この愛称は、軍国日本のもとで男性にだけ、尽くす「大和撫子」に由来します。もちろん、愛称に込められた願いはあの時代のものとは違っているといえ、いまわしい時代の言葉を使うことに違和感を覚える人は少なくないでしょう。「愛称」の話だけならと



くにしが
秀明
(無党派)

もかく、現実政治で再び男性を戦火に送り込む危険をもつ、「動的防衛協力」という名の日本軍事協力が強力に推進されようとしていることは見過ごせません。こちらの「戦い」はゴメンです。

演劇鑑賞会 8月例会

榎の木坂四姉妹

長崎の原
爆被爆者

8月20(月)夜、阪南サラダホールで、泉南演劇鑑賞会例会、劇団俳優座公演「榎の木坂四姉妹」を見ました。舞台は、大きな榎の木が見える小さな平家の木造の家。両親と4姉妹とそ

の兄、歌うことが大好きな家族が物資の乏しい戦時中にも仲良く暮らす1945年の8月と被曝しながらも生き残った3姉妹の55年間の生き様が重なりあう長崎の町の家族の物語でした。